奴隷女教師・景子⑪

原作／杉村春也

漫画／まいなあぼおい

MW COMICS

成年コミック

奴隷女教師・景子⑪

今までの話

私立の名門英正学園に就職した英語教師、松下景子はかつて家庭教師をしていた春川かおると再会する。しかしかおるには暗い翳りが…

かおるの母親、春川佳代にその原因究明を頼まれた景子は3年E組に巣食う不良グループ黒志会に接近した。

しかし景子は彼等の罠にはまり、むりやりかおると肉の関係を持たされたあげく黒田ら四人に輪姦されてしまう。

弱味を握られた景子は次々と出される無理難題に従わされ、徐々に露出狂のマゾ奴隷へと調教されていく…

そしてついに黒志会の魔手は春川かおるの母へと向かうのだった…

悪徳教師の横田に排泄の自由を奪われた母佳代は徐々に洗脳され露出マゾ奴隷として人格を改造されていく…

そして校長がついに景子に魔手を伸ばしたと同時に佳代は元ヌードモデル小桜ルミ子として学校職員として採用され供に奴隷として調教されるのだった…

奴隷女教師・景子11

目次

第十七章　闇の宴…7

校長室での景子への凌辱は
夕刻まで続いた…
今まで手を出すのを我慢して
いた鬱憤をはらすかのように
校長は女教師を犯したのだ…
くうっ
おおっ
景子が横田と黒田の罠に
はまり不良生徒に
犯された経緯は細かく
井川から報告されていた
美人教師が処女であり
ほとんど男性経験が
ないこともその時
知ったのだった…
めったにない上玉を
不良生徒達の慰み
ものにするのは
なんとも口惜しいが
ここは我慢するしか
なかった…
ううむ…
松下先生は処女
だったのか…
あんな美人が信じ
られん…

春川かおるに形ばかり
処女を散らされ…
その後の黒田達の輪姦の
様子も校長は写真やビデオで
克明に説明を受けていたのだ
ああ…
先生!!
第十七章
闇の宴
ダークカーニバル

処女を失ったばかりの景子がとろろで狂わされ黒田の肉棒で突かれて思わず喜悦の声を上げたのを羽川は見のがさなかった…
自由を奪われ不良達に次々と犯される内に景子が被虐の喜びを覚えて戸惑う様子がしっきりと記録されていたのだ
この美人教師の中にあきらかにマゾの素質を発見した羽川は欣喜雀躍したといっても過言ではなかった…

おおお!!
果ては…
不良生徒の腰に
またがってみずから
腰を振って欲望を
貪る女教師の姿を
見た羽川は中学生の
ように自慰までして
しまった…

その後の黒田達による
景子への調教も
詳細に報告が
されたのだが
変貌してゆく
女教師の様子を
校長はただ
指を咥えて
眺めるだけに
とどまった…

おおーッ
ひいいいっ
いっいくううっ
いっいくうっ
ビビビビビ！！
景子…
狂っちゃううう
ううんんっ…
さらにE組での
スチューデンツ
ペット宣言
衝撃の課外授業は
たっぷりと写真と
ビデオで報告された

景子が初めて生徒達の前で服を脱ぎ
ストリップを踊る様子を羽川は井川から
微にいり細を穿って説明された…

ああっ…
見られている
ジュン
ひいいッ

生徒の眼前でのオナニーショー
先生がこんな露出狂なんて誰にも言わないでね…
そして露出狂としての告白とテストの成績で自らの肉体を提供する約束までしてしまう…

生徒に身体中を舐めまわされて悶える景子の様子に羽川も悶絶し…
ああ…
教室で局部を晒すまで女教師は堕ちていった

しかし校長が一番
切歯扼腕したのは
横田が景子に手を
出した時だった…
井川経由で横田の撮った
女教師凌辱ビデオを
何度繰り返し見たことか…

おおお…
横田の腰にまたがって絶頂する景子の姿をビデオで鑑賞して校長は何度歯ぎしりしたことか…
さらに用務員の井川が女教師の調教に参加するに至っては…
ううむ…どうだったかね？松下君は…

美人教師を犬のように
鎖でつなぎ暴虐の
限りをつくす…
その様子を
自慢げに語る
井川の顔を
校長は何度も
殴りたくなった…
おおお
おおお
ヒヒヒ…
あったけえ…

校門にウンコをさせたらすっかり大人しくなりましたわその後は風呂場でソープの真似事を…
ううむ…
男性経験がまったくないらしく…おしゃぶりは下手でした
井川はとくとくと女教師凌辱の様子を校長に話し続けたのだ…
ジュプ
ジュプ
毎日しゃぶらせていたらさすがに最近はなかなかうまくなってきましたがね…ヒヒヒヒ…
ううむ…
不良生徒一般生徒…横田さらに井川と…次々と景子に手を出すのを羽川は耐えて傍観していた

ついに正規の授業中に景子は嬲られるようになる…
もちろんその一部始終もビデオで校長は報告をうけていた

生徒との記念撮影

オナニーショー

繰り返される…女教師への強姦…

アナルセックスで悲鳴をあげる女教師のビデオも届いた

そして警備員までもが
景子凌辱に加わるのだが
それに関しては教頭からも
報告を受けていた
わっ…私…
松下景子は…
殿方にいたぶら
れたり…辱め
られるのが…
泣きながら奴隷宣言する
景子のビデオを羽川は
何度見返したことか…
そしてついに教頭まで
景子に手を出す事になった

ここに至ってついに校長も景子に手を出す事を決意した
完全に女教師の弱味を握って反抗できないと見極めたからだ…
おおっ…
今までの鬱憤をはらすかのように羽川は景子を犯し尽くしたのだ
自分でも驚くほど何度も景子の体内に射精した
くううっいくぞっ

ううむ…
たまらん
松下君!!

おおっ
いッいくっ

景子も不覚にも
絶頂を極めて
のけぞって
エクスタシィを
むさぼってしまう

ドクン!!

また
出すぞ!
松下君

ラむ

さあ…
もう一回
やるぞ
松下君…
教育者でありながら
平然と女教師に
中だしする男を
景子は恨めし気に
見るだけだった…
机に手を
つくんだ…
うう…
そら
尻を高く
上げて
ひひひ…

校長もこれで五回目か…ヒヒヒ…よくやるぜ…
いい尻だ松下君…
僕はケツの穴にはあまり興味はなくてね…
やはり女はここが一番だよふふ…
ズズ…
あっ…

ふふふ…
これが二ヶ月前
までは処女だった
女の味か…
君は大学
時代…
春川君の
童貞を奪った
らしいね…
それは横田先生の
嘘ですわ…
そんなことして
いません
ほう？
横田先生が嘘を
ついていると？

横田君や教頭が嘘をついているというのかね？君は!!どうなんだ！
くうッそ…そんなああっ!!
よし…君のオマンコに聞いてみよう
くうっ!!
うっ…うう…そんなあ…
ううむ…これは…嘘をついているオマンコだな

くはっ
そんな女じゃないというならどんな女なんだ？
そらっ答えてみたまえっ
うっ…ううむっ
おおっ

くはっ
うんっ
くっ
嘘はいかんな
松下君
正直に
いいなさい!!
ハッ…ハイ…
私は嘘をついて
いました…
私は大学時代に…
教え子に
手を出す
淫乱女で
ございますっ
うむっ
正直で
よろしい!!

御褒美に校長であるわしの特濃ザーメンをご馳走してやろう

ハ…ハイ！嬉しゅうございます

特濃ザーメンお願いします!!

くううっ

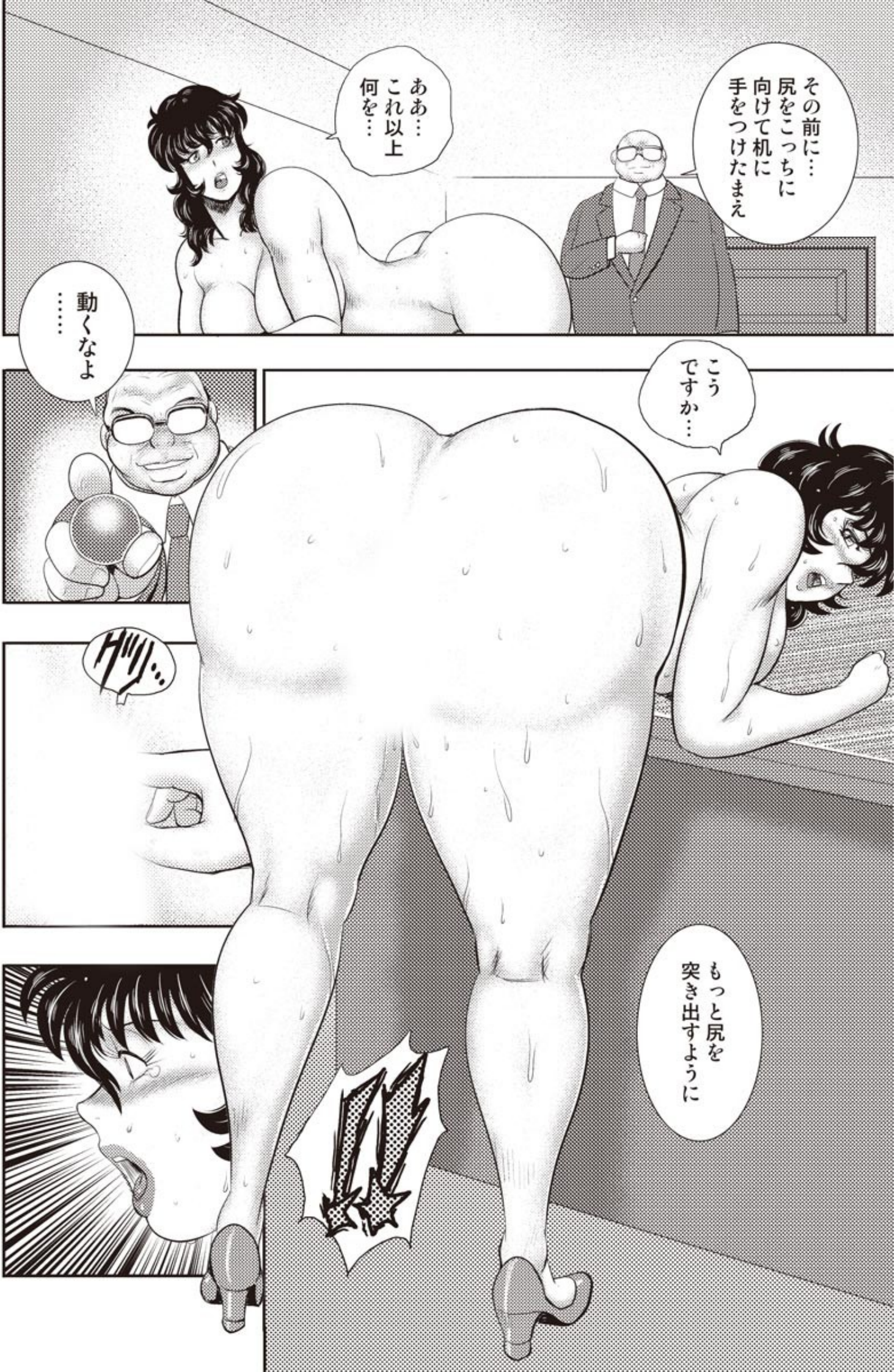
うひひひ…教頭もたいがいだが校長もたいしたもんだぜ…

ドクッ

ドクン…

井川さん何してるんですか？
ギクッ
じゃ…お先に…
ああ気をつけてね…
ふう…脅かしやがる…
ううむ
ああ安さんか…いや鍵がね…
また調子悪いんですか
ふう…たっぷり出したよ松下君 どうかねよかったかね
は…はい…とても…美味しかったです…
ああ…私…なんてことを認めてしまったの…

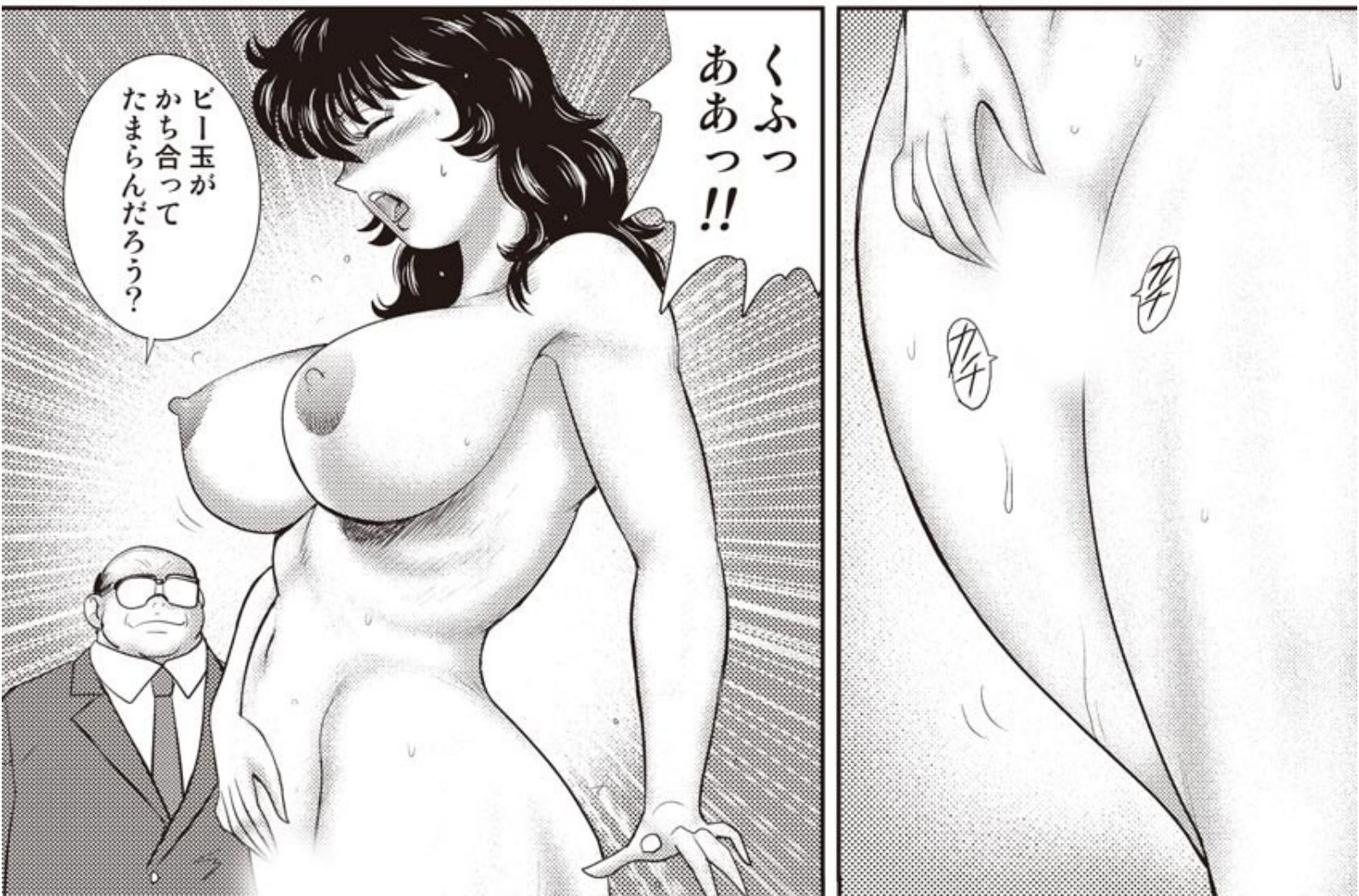
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ううう…
まだ犯したりない感じだが…時間が迫ってるまあいい…これからいつでもやれるしな…
嬉し泣きもいいがこれからつきあってもらわねばならん
立ちたまえ
君ともっと親交を深めたいし儂が所属する会に君を紹介しよう
教育関係者も多数所属する会だがよしみを通じておけば何かと君にもメリットがあるだろう…
……？


その前に…
尻をこっちに
向けて机に
手をつけたまえ
ああ…
これ以上
何を…
動くなよ
……
こう
ですか…
グリ…
もっと尻を
突き出すように

な…
なんで
すって!!
動くんじゃない
せっかく木山君が
入れたビー玉を
入れ直してるんだ
遠慮するな
儂もビー玉を用意
してきたからたくさん
入れてやる
そ…
そんな…
やめて下さい!!
ひいいっ
肛門は限界か
お次はオマンコに
いれてやる…
こっちはたくさん
はいりそうだな
教頭と同じく
ビー玉用意して
るなんて…
やはりみんな
グルなんだわ

どうだね？
松下君…　オマンコに
二十個もピー玉を
詰め込まれた気分は…
うう…
ううむ…
これ以上は
出て来て
しまうな
このへんに
しておくか…
ヒヒヒ…

うう…
そうだ…
もっと窓際でよく
その身体を見せて
くれたまえ
歩けるか？


くふっ
ああっ!!
ビー玉が
かち合って
たまらんだろう？

下着はいいからこの縄を締めるんだ…
えっ…
ギュッ
どうだ？ピー玉が出なくていいだろう…それにあそこが刺激されてたまらんか？
痛ッ!!
ギュッ
グイ
グイ

ああ… こんな…
下着をはけませんわ
許して下さい…
!!
下着はつけんで
いいよ
ノーパンでいくんだ
これを着なさい
ふふふ
似合ってるぞ
ネクタイも
つけるんだ
ああ…

こんな格好で…
外出するなんて
無理ですわ…
途中まで
タクシーを
使うから
安心しなさい
それにとても
女教師には
見えないぞ
ああ…
一体これ以上
何をさせようと
いうの…

井川君…
ちゃんと見張ってましたよ御安心を…
職員もおおかた帰ってます今なら気付かれず出られますよ
松下君がずいぶんいい声で啼いていたからなそれは良かったよ
!!
へへへ私にはよく聞こえていましたよ…あいかわらずエロい声ですな
また…井川さん…やはりグルなんだわ
ふふふ…世間に知られたらわが校の恥だな…
……
ヒヒヒ…こりゃまた凄い格好ですな…とても教師にはみえない…
タクシーは西門につけました

まだ明るいな
見られたら
どうする？
クラブの
生徒は
こっちには
いませんよ
待たせて
すまないね
頼みますよ
!!
しっかり
やるんだぜ
景子！

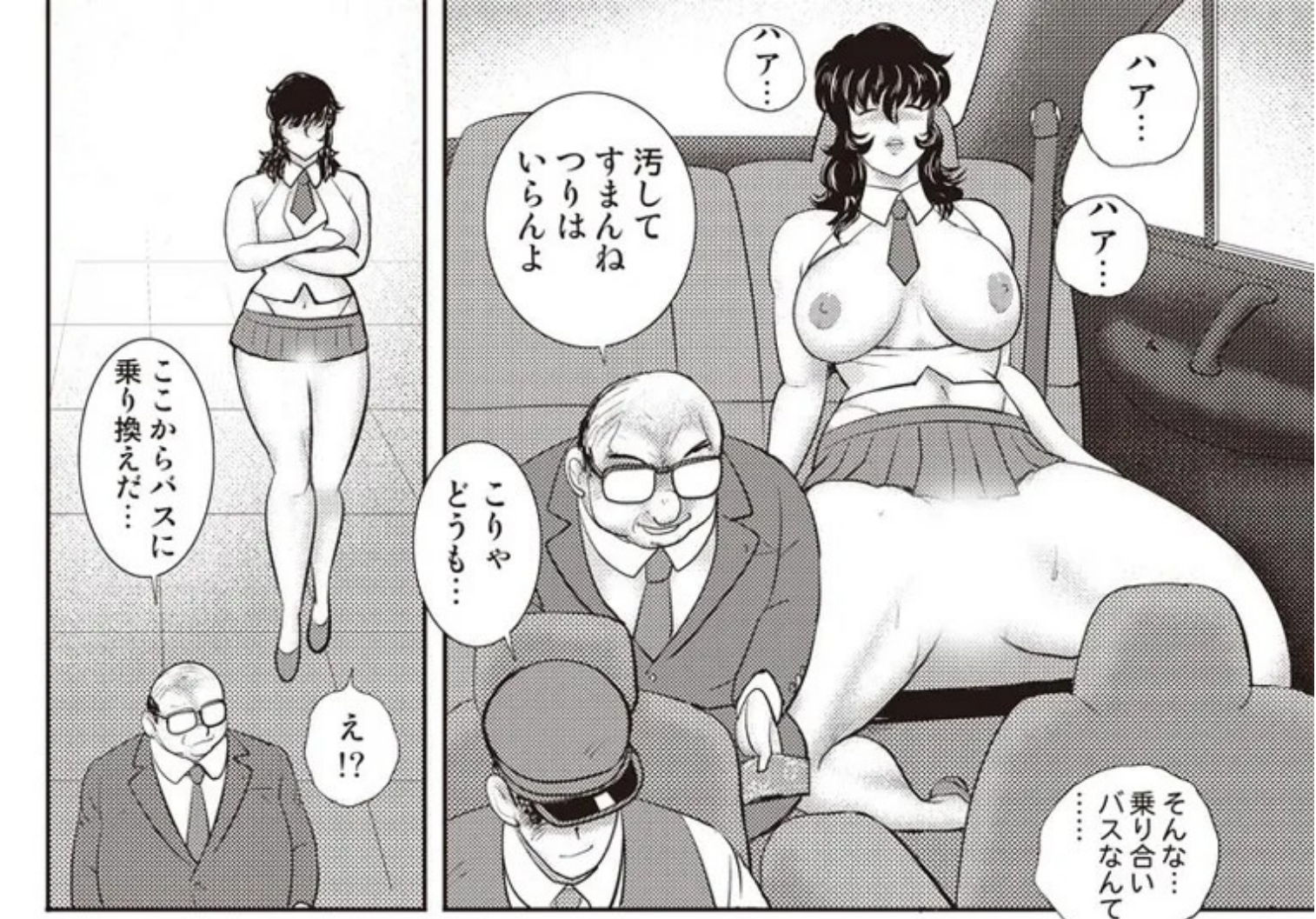
……
は…はい…
松下君
早く
乗りたまえ
あ…
校長…
こんな所で…
やめて
ください
ふふふ…
いい太腿だ…
あ…
もっと脚を
開くんだ

……
もっと脚を広げろと言ってる
ぅむ!!
おっ…くふぅっ
ビー玉が腹の中でごろごろしてたまらんか?
チュクッ
チュクッ
チュクッ

あっ…
ああッ…
ふふふ…
運転手くん…
覗くのは
いいが事故には
気をつけて
くれたまえよ
ハ…
ハイ…
くふぅッ
そらそら
ここが感じるん
だろう?
チュクッ
チュクッ
チュクッ
ああっ…
やめて…
ください…

くっ
ああっ
くふうっっ
おおっ!!
ああっ
んっ
んんっ
ふふ…
そんなにここが
感じるのかね？
松下君

十分程の乗車中
校長は景子の局部を
いじり続けた
景子は何度も
いってしまい
はしたない声を
あげてのけぞって
しまった…
タクシーの車内
という異常な状況が
興奮を高めたのだ
うおおおおうっ
おおっ いっ…
いくっいくうっ!!
運転手くん
そこのバス停に
止めてくれたまえ
景子はあえて
運転手に聞かせる
かのように
激しくうめき
股間を大きく
開いてアクメ
するのだった…


ハァ…
ハァ…
ハァ…
汚してすまんねつりはいらんよ
こりゃどうも…
そんな…乗り合いバスなんて……
ここからバスに乗り換えだ…
え!?

なんとか時間に間にあったようだな
奥にいこう
なぜか羽川はタクシーからバスに乗り換えた

バスの中は以外と空いていたが何故か奥に背広姿の男達が固まって場所を占拠しているのが異様だった…
校長はその男達の集団にむかって景子を誘うように歩いてゆく
松下君こっちだ
ハ…ハイ…

その集団の中に
景子を押し込むと
羽川は通せんぼ
するように立ちは
だかるのだった
なんなの？
この人達は…
……
その異様な
雰囲気に
景子は戸惑う
ばかりだった

え!?
校長じゃない
校長!!
こんな所で…
!!
周りの男達が突如
景子に手を出してきた
電車内の痴漢のように
この人達…
みんな仲間
なの?

羽川君
これが新しい
パートナー
かね？
パートナー？
はい 篠崎先生
数年ぶりにパートナーを
みなさんに紹介できるように
なって私も嬉しいですよ
はい… 春からの
新任女教師ですが…
生徒を誘惑したり
同僚の教師やはては
職員まで色目を
使うのでみなさんに
説諭していただ
こうと思いまして
ね…
ふむ…
なかなかの
美人だが
教師なのかね？

!!
いやぁ…
最近の女教師は
派手ですなぁ
これはそそる
松下君…といったかな…
我々は
羽川君と同じ趣向の
集まりでね…
心配することはないよ
こうしてたまに
集まって親交を
深めているんだ

彼等が羽川のいう同好の士
だということにようやく
景子は気がついたが未だ
なんの集まりなのかは
わからない…
あっ…
よろしく
頼むよ
バスの後部にいた
男達は遠慮なく
景子の身体を
弄り始めた…
ふふふ…

あ…
クチュッ
グチュッ
ふふふ… ミニスカートの下はノーパンに股縄か… なかなかいい趣味をしているじゃないか… 松下君…
うっううむ… あっぁあん…
露出狂の気があって生徒に見せびらかして喜んでいるらしい
松下君 ちゃんと挨拶せんか！ この方は会の長で… 色々顔の効く方だ 怒らせたりしたら君どころか儂まで大変な事になる

おいおい 人聞きの悪い事いうなよ… 松下君 そんなに心配するな
あくまで大人の自由意志にもとづく交流サークルだからね… まあ教育関係者が多いのは確かだから仲良くしようじゃないか…
クチュッ
クチュッ
うあっ
基本… 男女ひと組での参加がルールだが… 君のような女性は希少だから期待しているよ 松下景子君…
月に一度集まって親ぼくをはかっているんだよ… よろしくお願いしますよ
クチュッ

おおうっ
うむ…
感度も申し分ないな
女教師としては
ともかく…会の
パートナーとしては
合格だな
ふぐっ
松下君
岩田さんも
会の重鎮だ
お次は儂の
チンポしゃぶって
もらおうか
こんな所で…
んん…
おお…
無理矢理入れても
舌を絡めてくる…
相当仕込まれてる
ようだな…
相変わらず
岩田さんは
お元気ですな…
うらやましい…

しかし
いいケツを
しているな…
女教師に
しておくのは
もったいない
チュパッ
チュパッ
チュパッ
パシッ
んむっ
はむっ
いや
おしゃぶりも
なかなかうまいぞ
相当仕込まれ
とるわ…
チュパッ
チュパッ
チュパッ
おほめいただき
光栄です
まだまだですので
みなさんの御指導
御鞭撻よろしく
お願い致します
そら景子…
もっと頑張るん
だぞ…
はむっ
はむっ

これは責めがいのある尻だなこれは楽しみだ
ん!!
ううむ…いいぞ 松下君…出すから全部飲むんだ
うむっ
うう…
まさか路線バスの中でこんなことをさせられるとは夢にも思っていなかった…
どや…羽川君のとどっちがうまい？

それじゃ儂のもやってくれ

お次は俺も頼むよ

!!

揺れるバスの中で景子は次々と男達のペニスをしゃぶらされた

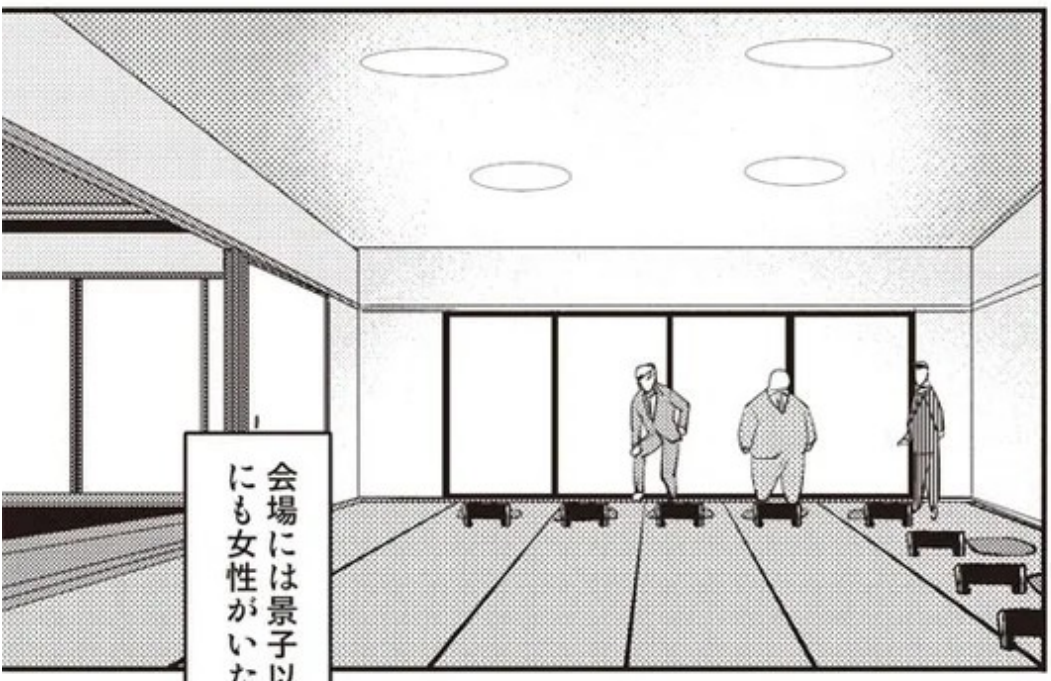
ああ…この人達は本当に教育関係者なのかしら…

ふぐ…

はむ…

出された精液は全て飲み込む事を強制されたやっている事は不良生徒相手と変わらなかった…

見知らぬ停留所で下ろされると景子は古びた旅館に連れていかれた…
男達は勝手知った様子で門内へ入っていく…


会場には景子以外にも女性がいた…

いらっしゃいませ…
女将…今日もよろしく頼む

ここがいつもの集会場なんだ

遅くなってすまんな…諸君…
…
新しく入会した松下君だ
松下君みなさんにご挨拶して
あ…あの…松下景子と申します
よ…よろしくお願いします…
……
……
ほんならそろそろ宴会を始めさせてもらおうか
はい…

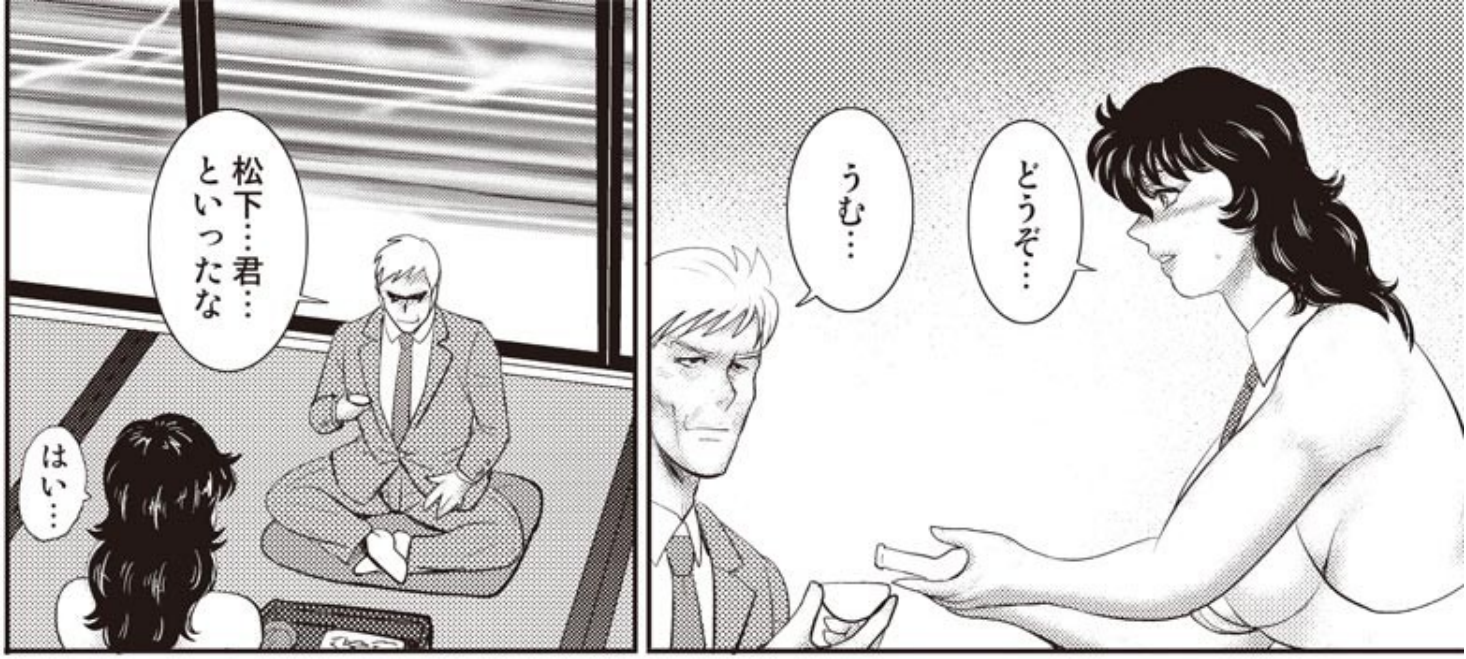
羽川さん
どうぞ
どうも…
今夜はいい
酒を飲めそう
ですよ

松下君
君もお酌
して…
は…
はい

要領を得ないまま
景子も酌をして
まわったが…

この会がどういう目的の
集まりなのか分からない
のが不安だった…
参加している女性全てが
短いスカートをはいて
いるのが気になった…

どうやらこの会に出席する女性はみな…ミニスカートを履く事が義務付けられているらしい
ひょっとして…ここに来ている女性は景子と同じようになんらかの形で…
無理矢理強制されて参加させられているのではないか…実際よく女性達を観察してみると…
楽し気にはめを外している男達に較べて女達はみな浮かない顔をしているような気もするのだ…


どうぞ…
うむ…
松下…君…
といったな
はい…

色々…
戸惑う事も
あるだろうが…
ここでは深く
考えないことだ
…
すべて
先輩諸氏の
言う通りに
動いていれば
いいんだ
それが君の
ためにもなる

はい…
なんとも
いえない威圧感に
景子は押し黙って
しまう…
酒もまわって
宴もたけなわ
やな…
そろそろあれを
見たいな…
いつもの
アレですか
いいですな

女将
音楽たのむ
はい…
おおっ
待ってました！

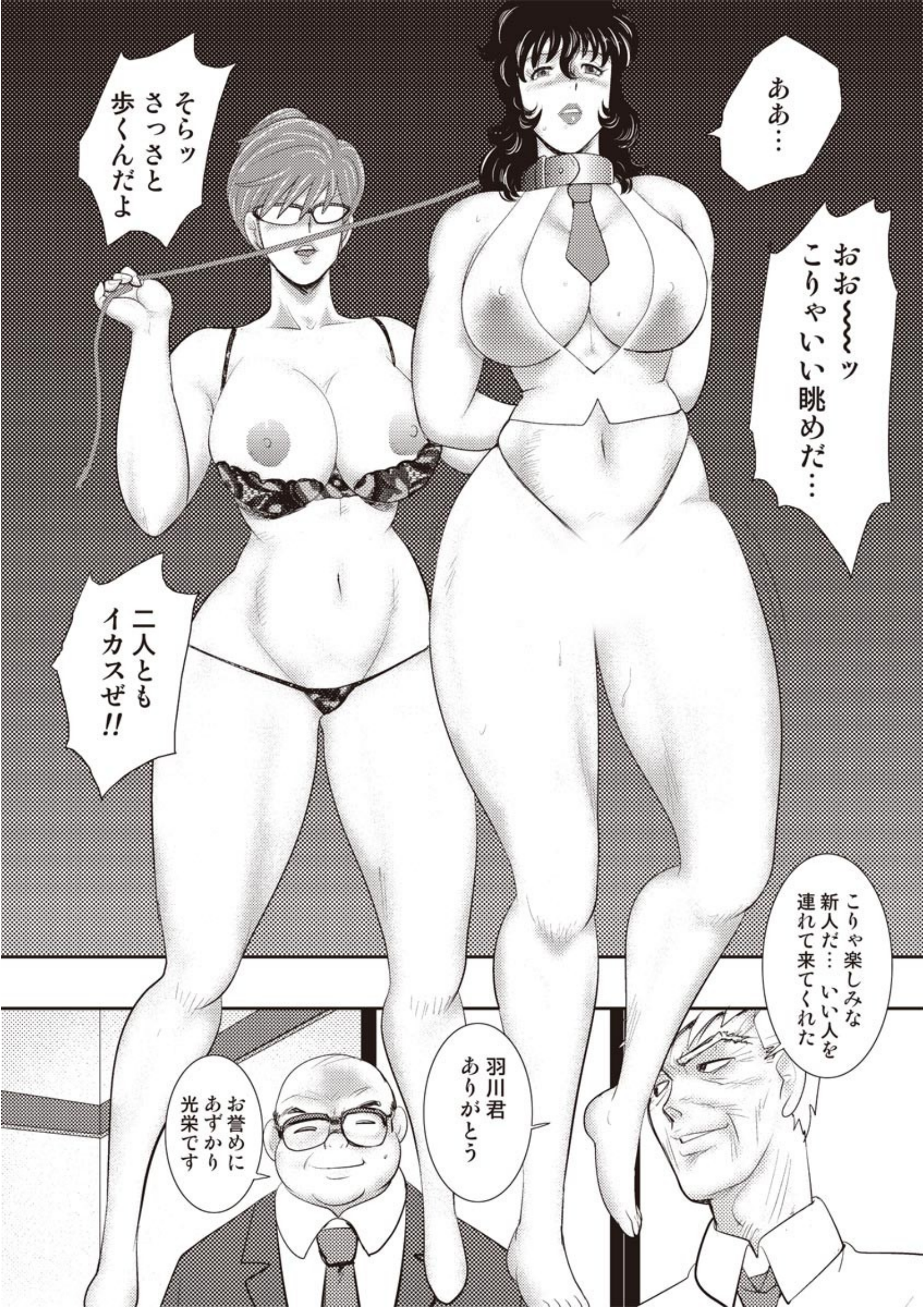
!!
いいぞっ
ギャハハハ
色っぽいよ
なんという…
ミニのスーツを着ていた二人があられもない姿で現れたのだ…

美しい女性にこんな惨めな
仮装をさせてそれを笑いものにする…
もし彼等が教育者の端くれだとしたら…
景子は腹立たしさと
同時に恐ろしさを感じた…

あの人達も…
私と同じ教師なの
かしら…

松下さん
次は私達の番よ…こっちへ来てちょうだい
え!?
いいぞおっ
金太郎最高やな
驚いた?
はい…
ここではなんでもハイハイって言っておくのよ逆らっても無駄だから…

……
これからは私に任せて…
私は三波英子よろしくね
それじゃ…早速…
!!
ガシッ
もっと…外で出会ってもお互いしらんふりしましょう
その方が身のためよ
は…はい松下景子です…
お？


ああ…
おお～～ッ
こりゃいい眺めだ…
そらッ
さっさと
歩くんだよ
二人とも
イカスぜ!!
こりゃ楽しみな
新人だ… いい人を
連れて来てくれた
羽川君
ありがとう
お誉めに
あずかり
光栄です

そらそら
もっと尻を
振って歩くんだよ
くはあっ
あっ!!
いいぞ
もっとやれッ
ぎゃはは
ははははッ

ううむ…
やはり三波さんの
女王様ははまり役
だな…
あの…
松下君も…
なかなかムチムチ
していていいな
三波さんも
いいがやはり
若いのが…

ひいッ
くはっ

教鞭で叩かれ
景子の尻は真っ赤に
染まった…
さほど痛くはなかったが
あまりの恥ずかしさに
景子は脳乱した
やめてェ
ひいいッ
痛ッ
うーむ…
しかしあの尻は
十年に一人の
逸材だぞ…

さあ…
みなさんに
いやらしい
割れ目を見て
いただきなさい
うあああ…

ほらほら！
気持ちいいんでしょ
ここが…
ああっ
いいぞ
もっと
やれ!!
ははは
びくびく
してるぞ
ああ… こんな…
人前であそこを
弄られていって
しまうなんて…

ああ…
景子さん
ここに
腰を降ろすのよ
フル…
フル…
いけえっ
でかいな
大丈夫か

ズーン!!
くほおおッ
ブブブブ
くっ…
おお…
あんなに深く
咥えおって…
ほお…
たまらん
やれやれ
んんっ
ああっ

くはあああっ！
ゆっ許してぇっ
おおおうっ
おひいいっ!!

おっおおうッ！
くおおおおおっ
おひいいいっ
くひいいいいいい

羽川君… 今夜はあの…松下君をいただいていいんだね？
はい 先生方に賞味して戴ければ松下君も本望でしょう
長い間… パートナーを紹介できずみなさんに御迷惑をかけましたのでその穴埋めをして下さい
こりゃたまらん
いいぞもっとやれ
ああーいっ…いくううっ
うむっおおうっ
こりゃ久しぶりに勃起もののショーだ
いくうう

さて…ここで数時間ほど戻った昼の英正学園に場所を戻して…

ルミ子！起きたか？

!!

ああ…裸で寝てしまったわ

ルミ子！いつまで寝てる

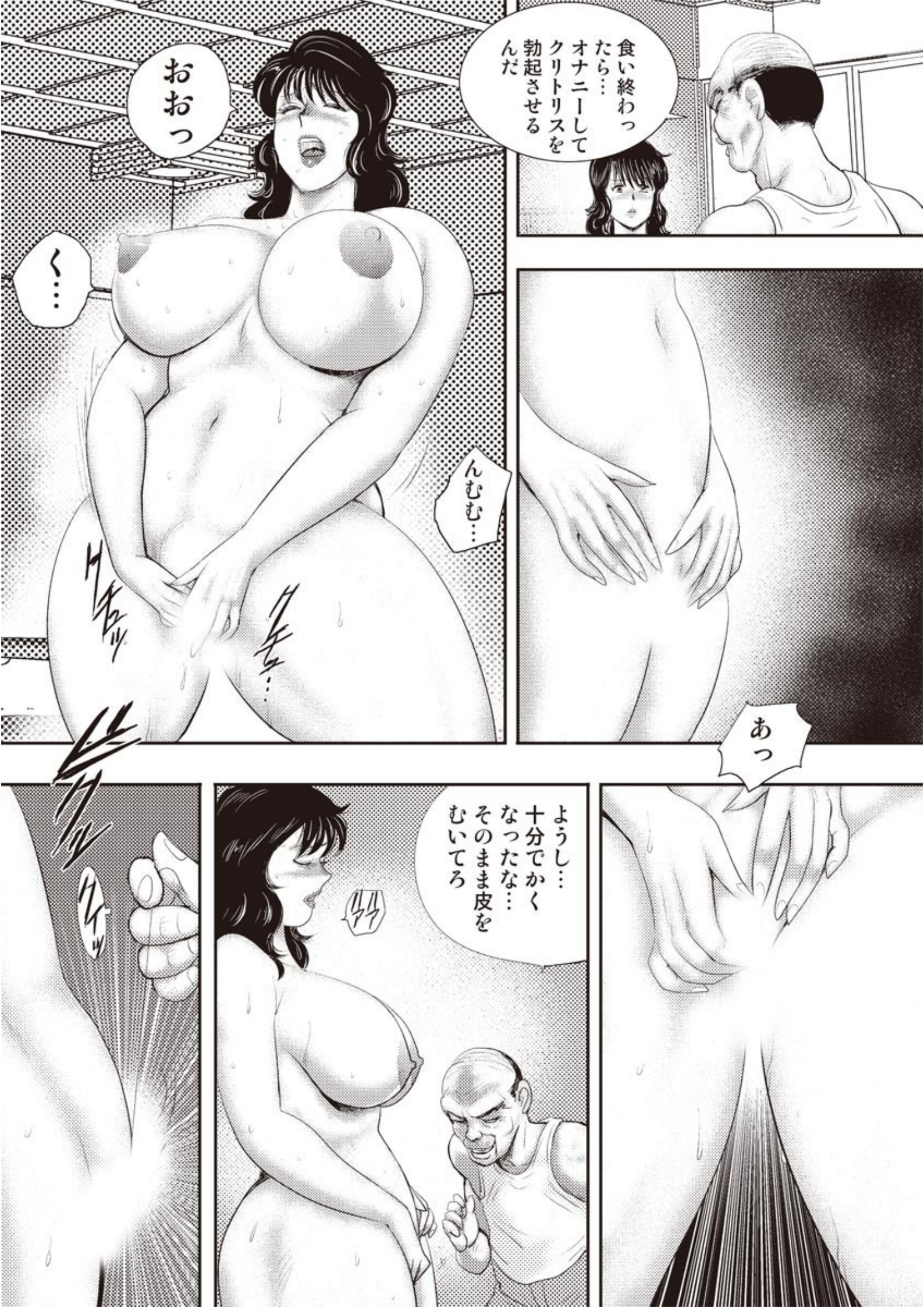
は…はい…

いつまでも寝てるんじゃねえ今日だけは許してやるが…明日からは五時起きだぞ

飯を食ったら仕事の説明にいくからな

下に来な…出前が届いてるぜ裸のままでいいから飯を食うんだ

まったく食欲はなかったが佳代は無理に飲み込んだ


食い終わったら…
オナニーしてクリトリスを勃起させるんだ
おおっ
く…
んむむ…
クチュッ
クチュ…
あっ
ようし…
十分でかくなったな…
そのまま皮をむいてろ
クイッ
クイッ

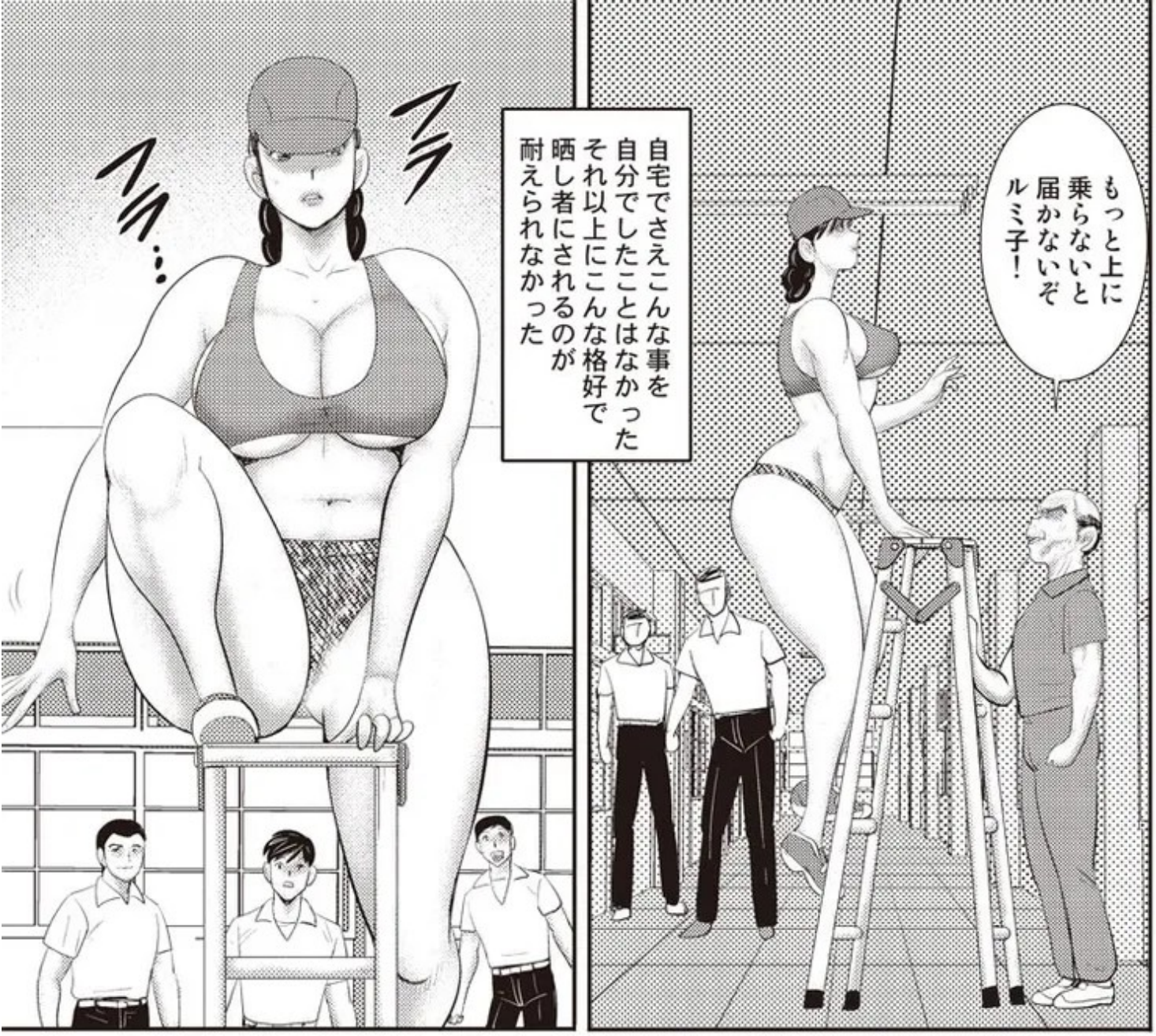
ふぁあ
あぁんっ
おおっ
ひひひ
そんなに気持ち
いいのか？
むむ…

……
うっ…
きついわ…
それくらい
小さいのが
今の流行り
らしいぜ…
井川が用意した
短いランニングと
ホットパンツは
とても大人の
女性が身につける
ものではなかった
……

昼休みでちょうど屋上で
景子が教頭に
犯されている時
だった…
!!
お…おい…
誰だ？
あれ…
松下先生
じゃないな

突然現れた豊満な美女に生徒達は驚きどよめいた…
ひひひ 生徒がびっくりしてるぜ
もっと顔をあげて歩けよ
かおるが二年の時には家に遊びに来た生徒もいた…よもや母親だと気付かれはしないだろうが…佳代は気が気ではなかった…

は…
はい
お前が
登って
やるんだ
まず…
ここの蛍光灯
取り替えるからな
どうした
怖がるような
高さじゃないぞ


もっと上に
乗らないと
届かないぞ
ルミ子！
自宅でさえこんな事を
自分でしたことはなかった
それ以上にこんな格好で
晒し者にされるのが
耐えられなかった
フラ
フラ…

押さえて
いるから
安心しろ
あの人
新しい用務員って
本当かよ！
松下先生以上に
ムチムチだな…
愉しみが増えたぜ

井川は半裸の美女を見せびらかすように校内を連れまわしたのだった…
ひひひ…
今の生徒の顔見たか？
お前の股間とおっぱい
交互に見つめていたぞ
……
佳代は言われるままフラフラとついて歩くだけだった…
そら…
まだまだあるぞ
!!
佳代と出くわした生徒も驚いたが佳代も身の置き所のない羞恥に心臓はばくばくと脈打ち失神寸前だった…

放課後…景子が校長に賜られている頃ー
佳代は職員室へ連れていかれた…

あー いない者もいるようだがちょっと紹介しておこう…

今日から用務員として勤めてもらう小桜ルミ子君だ…

……

彼女の服装に関して色々思う者もいるだろうが松下先生と同じ性癖なので

大目に見てもらいたい…

教頭先生！異義があります！松下先生の女教師とは思えぬ服装に…

心ある教師はみな眉を顰めているんです一人だけでももてあましているのに…どうしてそんな女を採用しなければならないんですか

神田先生…松下先生が赴任してから当校では暴力事件が発生しておりません

服装の自由賛成！ミニスカート賛成！

裸はもっと賛成！

松下先生の魅力的な容姿が生徒の情操教育に多大な貢献をした事は否定の出来ぬ事実です小桜君がどんな格好をしようが個人の自由ですし我々は見て見ぬ振りをする度量を持つべきです

……

そういう事なら私からはこれ以上申し上げる事はございません！

ニヤリ

神田がわざわざ佳代の服装に難くせをつけたのはあらかじめ横田と申し合わせての小芝居だった…

よかったな…小桜君

こうしてうるさ方のトップともいえる神田が引っ込めば他の教師も佳代の露出的な格好に文句は言えないという訳だった…

みなさん見て見ぬ振りをして下さるそうだ…遠慮はいらんから生徒のいない所では好きなように振るまいたまえ…

こ…小桜ルミ子でございます今までヌードモデル等しておりました…

裸を見られるのが大好きでございます…よろしくお願い致します

どうしたのかね？いつものようにしろと言ってるんだよ

…!!は…はい…お言葉に甘えさせていただきます…

おおっ!!
でかい!!
ゴクリ
松下先生よりでかいな…
ああ…息子の学校の先生達に見られるなんて…
これは…夢だわ…

クリトリスを常時刺激されている
夫人の乳首はビンビンに
勃起していた…
職員室にいる者の
目にははっきりと
分かる程に…
半ば失神状態に
陥った佳代は
夢遊病者のように
乳房を揺らし
腰を振りながら
エクスタシィに
のめり込んでいく…
おおお…
ああ…乳首が
痛いほどしこって
いるわ…
ふふふ…
佳代の奴まさか
こんな大勢の
眼前でおっぱいを
晒すとは思っても
いなかった
だろうな
腰の動きが
止まらないわ…

春川家
その日の夕刻
松下景子が宴会に出席していた頃…
ピンポーン
あら…
横田先生
どうしたの
引っ越しの
最中に…
いや
様子を
見にね…
!!

いらっしゃいませ…
これは失礼…
神田先生の同僚の
横田です…
いやあね！
横田先生
自分の受持ちの
生徒の顔を
忘れちゃった
の？
誰かと思えばかおるか…
担任の教師まで
騙すとは…
よくも化けたもんだな…

注文しておいたセーラー服が届いたので早速着せてみたの
かおるちゃん横田先生におピールを出して
はい…お姉様
……
セーラー服の美少女に酌なんてされると変な店に来たみたいだな…
かおるちゃんを変な店の女と一緒にしないでちょうだい
……
やれやれ…仲のよろしいことで…さぞかし夜も可愛がってるんでしょうな…

それが…
かおる君のあそこが
いまいち元気が
ないのよ…
ほう…
駄目じゃないか
かおる
かおる君も
クラスメイトに
女の子として
扱われる時は
元気なのに…
私の時は…
どういう
こと？
難難汝を玉にす…
ですよ… こいつは
マゾなんですから
いたぶらないと
興奮しないんですよ
ハッハッハッ
神田先生も焼きが
まわりましたな
かおるに元気が
ないのは先生が
可愛がり過ぎるから
ですよ…
そうだろう？
かおる！
お前はこうされる方が
感じるんだろう？
くうっ
ハ…ハイ！
かおるはいたぶ
られたり惨めな
目に会わされたり
すると感じる…
マゾなんですう！

そらッ
こうして欲しいのか!!
ぐはっ
まあ…
グイッ
まったく
変態なんだから…
かおるちゃんは!
ここなのね!
ひいいっ
痛ッ!!
ゆっ…
許してええっ
ふふふ… セーラー服の美少女がチンコおっ立てて悲鳴を上げているなんてますます変な気分になってきたぜ…

横田先生
おつまみでも
どうぞ…
おかまいなく…
そろそろおいとましますよ
私がいると邪魔でしょう
存分にかおるを嬲ってやって
ください…
そうそう
明日学校に
かおるを
早めに
よこして
くれますか
あら
何かあるの
なに…
期末テスト前に
かおるもクラスに
顔を出しておかないと
他の教師の手前が
ありますからね
そうだったわね…
じゃ今日は早めに
寝ることにするわ
この時 かおるは何かいやな予感を
覚えたがかおるの想像以上に
事態は動いていたのである…
しかしたとえ全てがわかったと
してもかおるにはどうする事も
できなかった…

今夜も佳代は井川と佐倉の相手を命じられ全裸で奉仕していた…
ひひひ…佐倉さんどうだい？
ううむ…一晩で随分うまくなってきたな
そうだ…もっと強く吸うなだ…
ピチャ…
ピチャ…
はむはむ…
淫らにケツをふりやがって…そらッ！
くっ！
そうだ喉の奥まで突っ込むんだ

オラアッ
はむっ
はぷちゅ
まったく…
エロい腰付き
しやがって…
げぽっ
うぷっ
べろちゅ

おももっ
ぷぢゅるる

おおお…
たまらんね

おおう
締まるッ

おおっ

ドクン!!

おお
うぁっ
佳代はその夜も
さんざんに二人の
鬼畜に犯され
何度も絶頂を
極めて悶絶した
くはッ
パンッパンッパンッパンッ
おおうっ
おうっ
いいぞ
もっと腰を
振れ ルミ子
自ら積極的に豊かな
腰を動かし欲望を
貪るのだった…

夫とも横田とも感じた事のない漆黒の快楽に酩酊した夫人はルミ子になりきって乱れていった…

おお〜〜〜…佐倉さんのチンポ凄すぎるうっ…

イクウッ!!

オオ〜〜〜ッ
イクゥ〜〜〜ウッ
イクウッ!!

うおおっ
いくっ
いくうっ
いくッ
まったく凄いな… お前何回やった?
さあな… 数えてねぇや… 松下先生以上にいい女だ…
未亡人か… 相当飢えてたんだろうな
おっと… それは俺達は知らねェ事だ
うう…
こいつは小桜ルミ子だいいな…

ピチャ
ピチャ
ううむ…
女教師の
秘めたる
特技か…
じゅる
ちゅぱっ
そう思う
だろう?
佳代が井川達の
性奴隷として
仕えていたその時
景子も同じように
複数の男達に
嬲りものにされていた…
はむ…
ちゅぱっ
いやあ…
このおいどは
国宝ものや…
見てみい…
張りといい艶といい
滅多にない器や

羽川君！
いいパートーナーを
連れて来てくれたな
先生もお気に
召されたようで
松下君も
光栄でしょう
松下君
よく御奉仕
したまえよ！
今日は三波君に
たっぷり
抜いてもらい
たまえ…
は…はい
ありがとう
ございます
し…しかし…
本日はもう
松下君に
五回は抜かれ
てまして…
せっかく
三波さんと
ひさしぶりに
こうして
いるという
のに…
ハッハッハッ
情けないぞ
羽川君！
ピチャ…
ピチャ…

ふふ…
羽川さん
今夜はたっぷり
ご奉仕して
さしあげますわ
よろしくね
ああ…
眼鏡は
そのままで
まあ…
それじゃ今夜は
なんでもして
さしあげますわ
御希望は
なんでしょう?
私はね…
三波さんとこうしたい
ために必死に新しい
パートナーを捜したん
です…

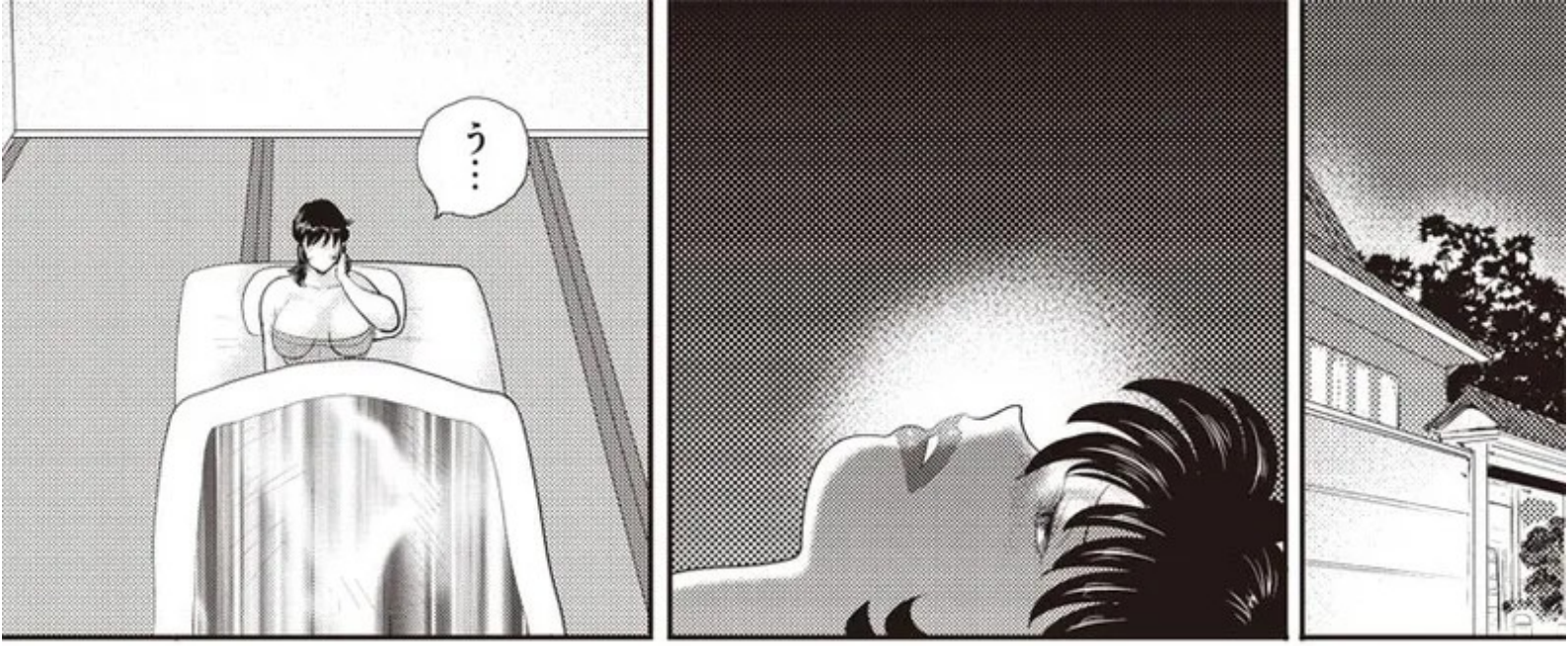
フフフ…
羽川君も大変だな
そんな苦労していた
とは…
ほんまに
エロい女教師や…
ついニヶ月前までは
処女だったらしいぞ

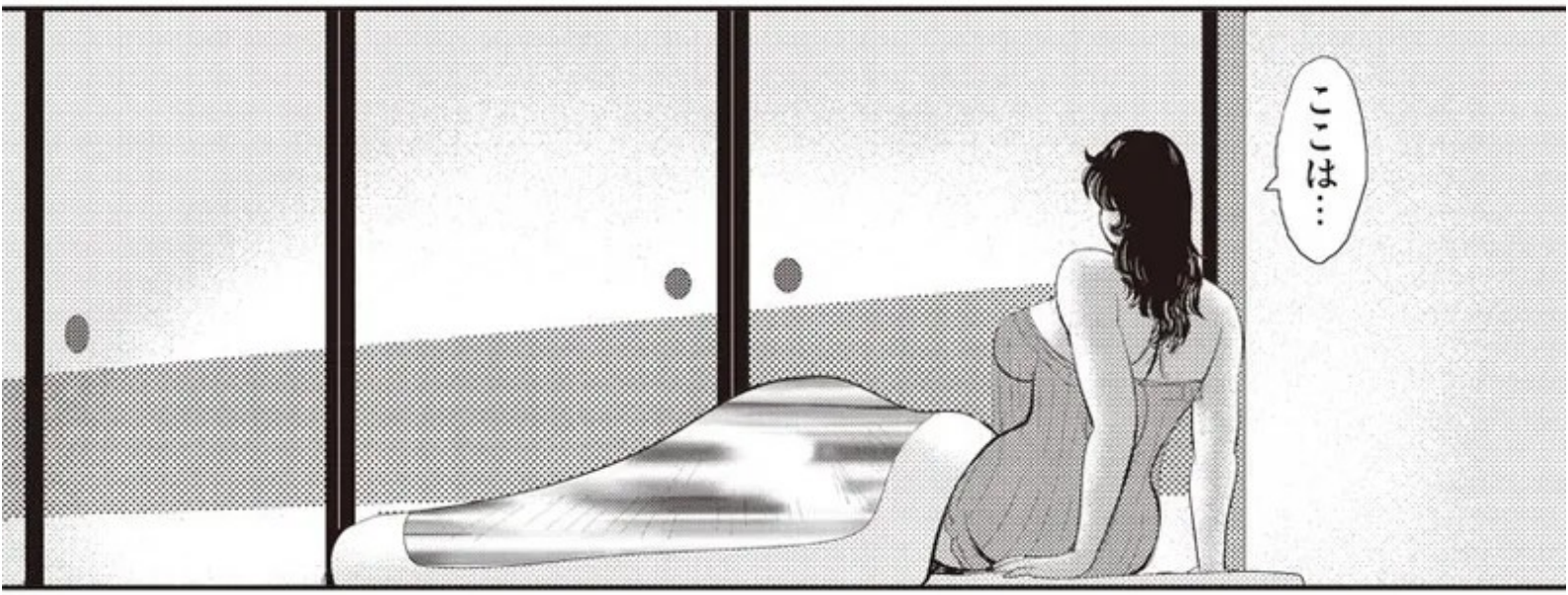
その仕上げを我々がやってやろう…
くはッ
おおっ
おっ
おおっ…
ズーズー!!

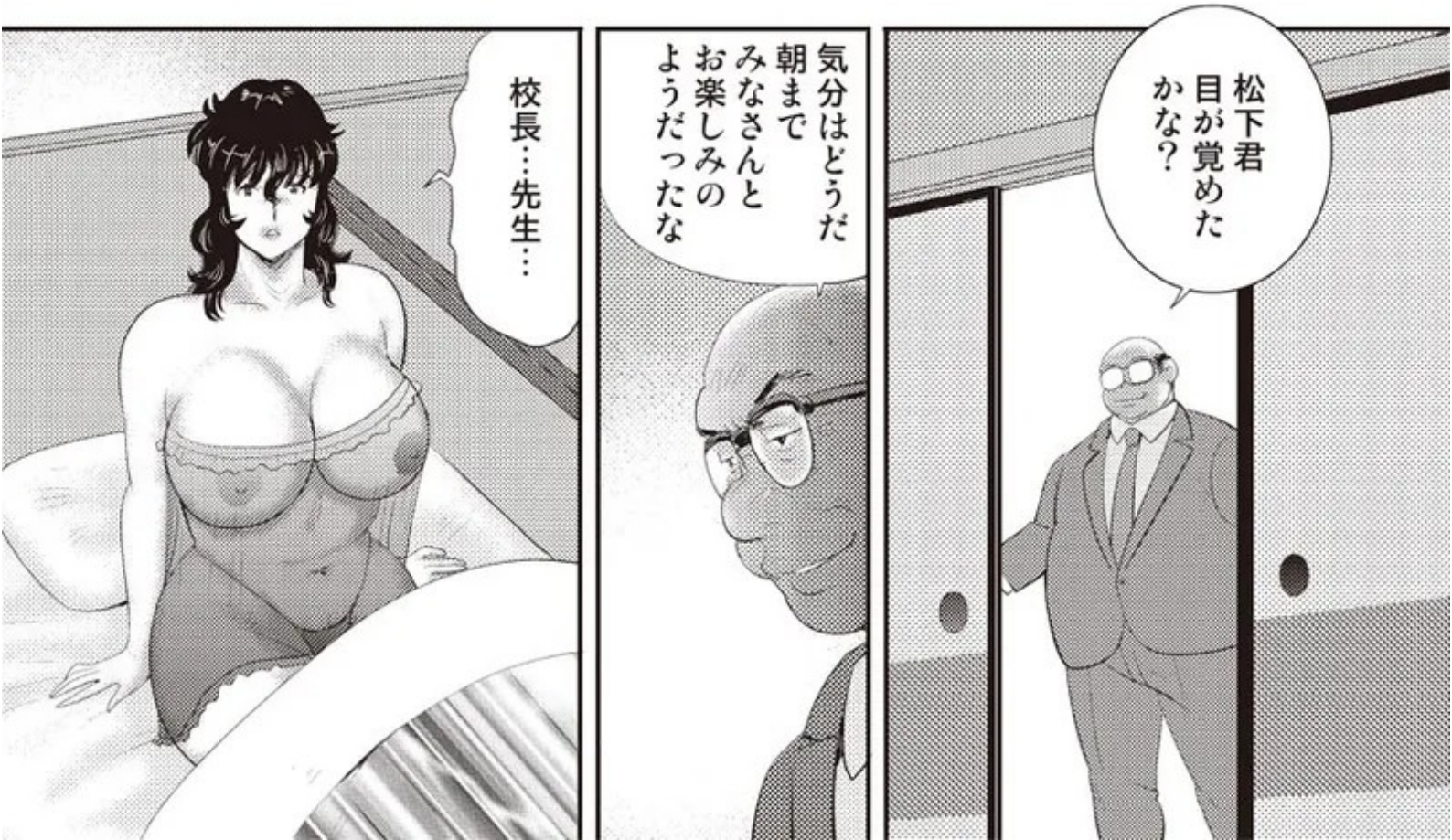
こんないい女を
不良生徒に任せて
いたとはもったいない
話じゃないか…
あうっ
ははは
不良生徒に
感謝せんとな
くうっ
そりゃ！
たっぷり出たぞ
二回目や！

視覚と聴覚を奪われた
景子は誰ともつかぬ男達の
愛撫に悶絶し脳乱した…
何人もの男達が次々入れ替わり
景子を乱暴に犯し続けたのだ
性の暴風に翻弄された女教師は
脆くもエクスタシィの波に沈んだ
おおっ
いくうっ

おひひいっ
いくうっ
誰とも知れぬ手に
身体中をまさぐられ
景子は芋虫のように
のたくり逃れようと
するのだが
それもまま
ならない…
おおうっ
うむっ
ただなすがままに
責められ悶絶じ
のけぞってはしたない声を
あげ続けるのだ…


う…


ここは…


松下君
目が覚めた
かな？
気分はどうだ
朝まで
みなさんと
お楽しみの
ようだったな
校長…先生…

もう五時過ぎだぞ
風呂にはいって
支度をしたまえ
儂は外の
車で待って
いる
はい…
何…この
趣味の悪い…
いつの間にか景子はスケスケの寝間着に
着替えさせられていた
校長に着替えさせられたのかもと想像すると
景子はおぞけをふるった…

ああ…身体が重たいわ…
まさかこんな事になるなんて…
一体いつまでこの…
性の地獄が続くのかしら…

いくら局部を洗っても男達の精がこびりついているような気がして景子はお湯をかけ続けた…
こんなことならいっそ校長に首にされた方がよかったとさえ思ったが…
淫獄に迷い込んだ景子はもはやこの迷宮から抜け出す案を考える気力さえ奪われていた…
風呂から上がるといつの間にか服が用意されていた…
昨日のものよりはましであったが露出的なブラウスとスカートを身に付けた…
今日もまた淫らな一日が始まるのだ…

食事は済ませたのかね？
いいえ…
いかんなちゃんと食事はしないと
これから毎月ああいう集まりがあるから…君には参加してもらうよ…
そのためにも君の美貌と健康を維持してもらわんとね…これも職務のうちと思ってね…
あの方達に気に入られれば君の将来のためにもなるんだ　いいね…
はい…

は…
はい…
悪いようには
しないからね…
これから頼むよ
もっとも君自身も
随分楽しんでいた
みたいだがね…
ふふふ…
大人の付き合い
というやつだよ
ふふふ…

……なんという
ことを…でも…
逆らったら私は
生徒を誘惑した
女教師にされる
んだわ…
これから
毎日 放課後は
校長室に来て
もらおう
いいね…
ふふふ…
いままで我慢した分
たっぷり松下君の
肉体を賞味してやる

その頃ー
かおるが早々に学園に
出向いていた
よう…
時間通りだな
御苦労…

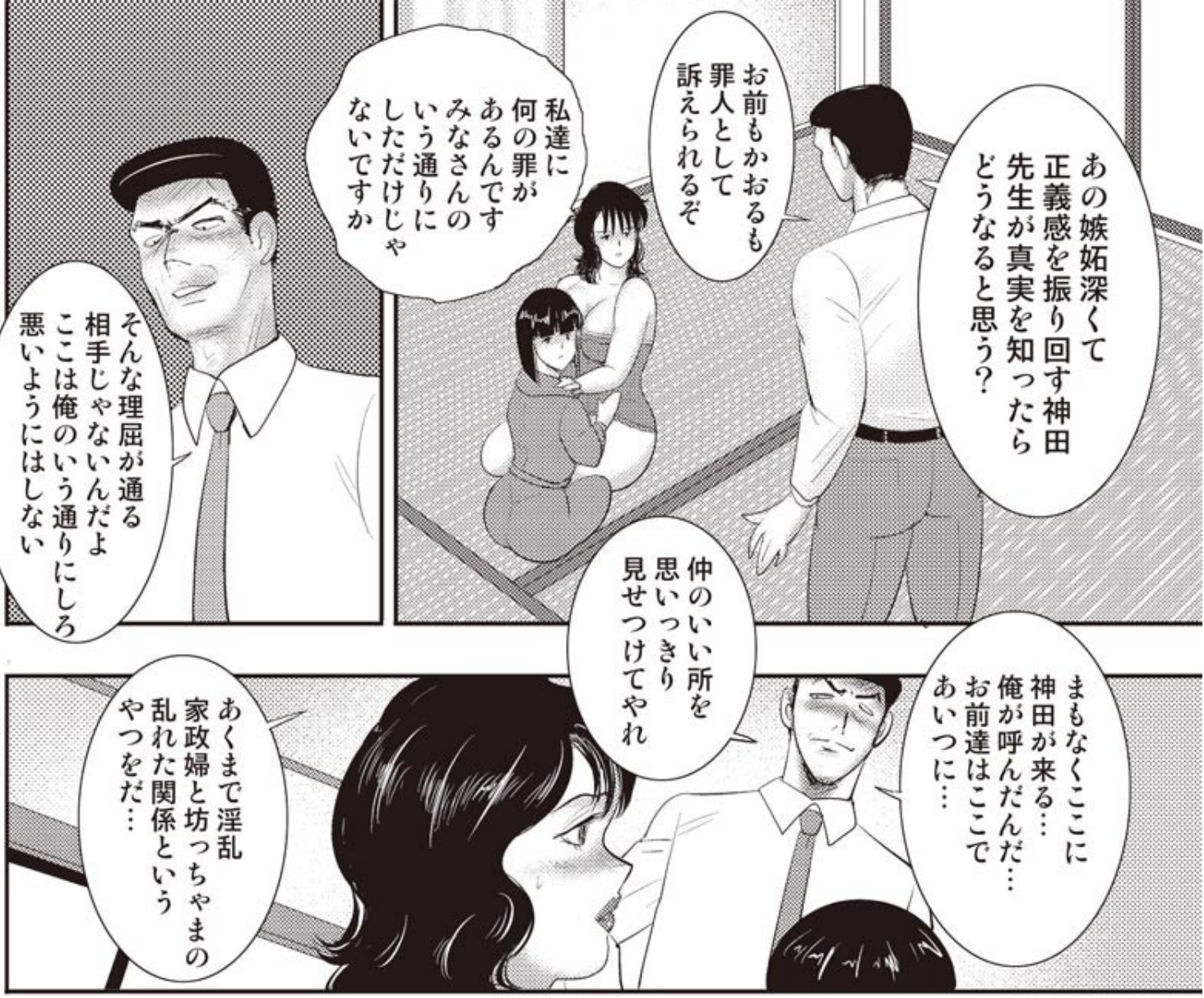
あ…あの…
何を…
うむ… 実はな…
わざわざ来て
もらったのはあの…
神田先生の事なんだ
どうもあの
黒ブタ先生…
おまえとルミ子の
事に気付いたんじゃ
ないか…とな
え!?

もし…ルミ子がお前の
母親だなんて知られてみろ
あの嫉妬深い神田先生の事だ
大変な事になるぞ…
どうもお前の家で何か
見つけたみたいだ
それとなく俺に
探りを入れて来たし…
なんとかしないと後々
やっかいなことになりや
しないか…とな…
そんな…

ここじゃなんだな上に行こう
へへへ…会わせますか
階段が急だから気をつけてね
!!
か…
坊ちゃま…
ルミ子いや佳代…ここではいいんだ
……
へへへ…驚きましたよまさか春川君のお母さまとはね

まさか良家の奥様が奴隷志願とはね… 私は秘密を守りますから安心してください
ハ…ハア…
よかったなルミ子
わざと恩着せがましく秘密を知った事を佳代に宣言するのはもちろんこれからさらに言いなりにさせるのが目的である…

そこで相談があるんだが神田がお前をかおるの母親だと疑っているんだその疑いを払拭するためにお前達の協力が必要なんだ…
え？
土曜日に初めて神田に会った佳代は一目でおぞましい本性を見抜いていた… その神田が自分とかおるの関係を知ったらと思うとそれだけで身がすくんだ


あの嫉妬深くて正義感を振り回す神田先生が真実を知ったらどうなると思う？
お前もかおるも罪人として訴えられるぞ
私達に何の罪があるんですかみなさんのいう通りにしただけじゃないですか
そんな理屈が通る相手じゃないんだよここは俺のいう通りにしろ悪いようにはしない
まもなくここに神田が来る…俺が呼んだんだ…お前達はここであいつに…
仲のいい所を思いっきり見せつけてやれ
あくまで淫乱家政婦と坊っちゃまの乱れた関係というやつをだ…

それって…まさか…そんな…
ヒヒヒヒ…ここでいちゃいちゃしてる所を見せれば神田先生も納得するでしょう
……
ふふふ…ただいちゃいちゃするだけじゃ駄目だわかってるな…

そんな… 神田先生の見ている前でなんて…
何言ってやがる！ 今までもさんざん息子とやりまくりやがっていたくせに…
もう時間がないぜ そろそろ神田先生が来る頃だからな… かおる！ 間違ってもママなんて叫ぶんじゃないぞ
ヒヒヒ… 神田先生が来たら天井を叩いて合図しますからね そしたら始めて下さい
それまではつもる話でもするんだな
いいな 本気でやるんだぞ ここでばれたらお前達は世間の晒しものだぞ
ああ…
ママ…
ごめんなさい… 僕のせいでママまでこんな酷い目に…
いいえ… ママがいけないのあなたを守ることができない弱いママを許してちょうだい…
かおる… 服を脱ぎなさい

ええ？
どういうこと？
もうママと呼んでは駄目…
私は覚悟を決めたわ…
あなたがこの学園を出る
まで… なんとしても
守ります
だから…これからは
卒業までは… 私は
あなたのママじゃなく…
小桜ルミ子なのよ…
いやらしい淫乱な…坊っちゃまに
手を出すような…
だから…ルミ子と
呼ぶの！ 私も
坊っちゃまと呼ぶわ
ルミ子と
呼んで!!
坊っちゃま
ママッ
ルミ子と
呼ぶのよ!!

ルミ子!!
坊っちゃま!!
ヒヒヒ
どうだ？二人の様子は…
バッチリですよすっかり悲劇のヒロイン気取りだ
おはようございます
おう！来たか…後は頼んだぞ
二人とも気分を出して裸で絡み合いだしていい気分ですよ…
はい…まかせといて下さい

坊…っちゃま…
ごらんくださいまし…
ルミ子の…いやらしい
身体を…
一度覚悟を決めた佳代は
完全に淫乱な牝ブタになりきり
いやらしく腰を振りながらかおるを
誘惑した…
ルミ子…
実の息子に対して
ルミ子になりきって
淫らな言葉を
かける事は
異常な興奮を
よんだ…
淫らな女を演じている
うちにむしろ…
これが本性なのだ
開き直ると…
ああ…
たまらない開放感があった
何年ぶりかに息子の服を
脱がせながら…
佳代は妖しく変貌した
かおるの身体に興奮して
愛撫を始めた…

ああ…
坊っちゃま…
きれいな肌を
しているのね…
母の変貌ぶりも
かおるにとっては驚きだったが
彼もまたとまどいながら
異常に興奮してたくましい肉棒を
怒張させてしまっていた…
ああ…
ルミ子…
坊っちゃま…

ああ…
気持ちいいの？
坊っちゃま…
ここはどう？
…ん
うん…
かわいい…
あっ
ああっ
んっ
んんっ
ああっ
あっ…
んんんッ

もちろんやって来たのは
神田ではなく松下景子である

またこんな恥ずかしい格好で公道を走らされるんだわ…
そうだ…同好会の前にいいものを見せてやろう
黒田君…やめなさいよせっかく親子水入らずなのに
親子…水入らず？
それって…まさか…

どうせいずれ知る事だおっさん見せてやれ
横田先生に怒られますよ…
階段が急だから気をつけてね
……
ニヤリ
静かにして音をたてないようにね…
景子は魅入られたように井川の後に続いていく…
……
……

おおおお…
坊っちゃまあ
あああああ～～～～
もっとおお
おおっ
ああっ
ル…
ルミ子
あぁ～～
おおっ
ううッ
パーン
パーン
パーン

あはあ…
またっ
いくうッ
坊っ
ちゃまあ
ああッ!!
ルミ子
オオ〜〜ッ

うひいッ
ああ…
いくうっ！
ああっ
いいわ
坊っちゃまの
チンポ…
いい～～ッ
チュポ!!
ああ…
坊っちゃま…
もっと…
もっと出して
下さいまし…
ルミ子
坊っちゃまの
精液おいひい
のおお…

ああ～～ん…
ちゅぱっ…
じゅるるっ…
じゅぱっじゅぱっ
チュパ
チュパ
チュパ…
ど…どうして…
奥様とかおる君が
こんな…
初めは演技のつもりだった二人も…
互いにルミ子坊っちゃまと
呼び合ううちに暗示にかかって
しまったのだろうか…
やがて激しく絡み合い
互いの性器を貪って
いた…
そこへ出くわした景子が
二人の本気の性交を見て
呆然としたのは当然と
いえよう…
以前景子も無理矢理
かおるとセックスさせられた
ことはあったが…
今の二人が強制されて
性交しているのではない事は
はっきりとわかった…
チュパ
チュパ
ルミ子！
ああーん…
坊っちゃまの
オチンチン美味しい
のおお～～ん…

ル…
ルミ子
オオ!!
あっ
くはあっ
坊っちゃまぁ
〜〜〜!!

ルミ子ッ
ルミ子ッ
おおうっ
おおっ
坊っちゃま
いくうっ
パン
パン
パン

ルミ子
オオ〜〜ッ
……
おい
大丈夫か

ふふふ…
随分ショックだったようだな
あの親子は昔からああいう関係だったのさ…
今流行りのやつだな
そんな！
嘘よッ
今その目で見た事を信じられないのも無理はないがな…
本当の事さ…

その近親相姦の秘密をゲタが嗅ぎ付けたのさ…
それで母親を脅して去年から調教していたのさ…
あくまで春川家の家政婦という名目での付き合いだったんだが罪の意識からかそのうち二重人格みたいに母親自らその嘘を信じるようになったのさ…
そんな…

貞淑な未亡人という立場が重荷になったんじゃないでしょうかね
奔放な元…ヌードモデル小桜ルミ子になりきってますからね
ハハハッおっさんも色々考えてるんだなおっさんはストレスないんだろう
ヒヒヒ私だって色々ストレスはありますよ

本日 元春川家の家政婦…小桜ルミ子として本学園の職員として採用されましたからね…
横田先生の紹介でね今後顔を合わせる事もあるかと思いますが…あくまでルミ子とは初対面という事で話を合わせて下さいよ…
いいですね松下先生

もしあの女がかおるの母親だとばれたら…
大騒ぎになるからな…いいな景子…

こんな事が現実である筈がない…あの奥様がかおるとあんな関係だった事もさることながら…自分を陥れるようなふるまいを夫人がした事を景子は受け入れられなかった…

景子…
しかし…二階で見た光景はまぎれもない事実であった…景子は白日夢の世界に紛れ込んだ気分でフラフラと校庭を歩んだ…

これからはルミ子も参加してくれるからお前の負担も減るというもんだ

……

悪夢の中にいるような気分で景子は自分があられもない姿でいることも忘れ果てていた…

そら…同好会の奴らがもう揃ってるぞ

諸君！期末テストも近いのに今日も集まってくれてありがとう…

今日も先生と供にいい汗をかこう

露出的な姿の景子を見て出席した生徒は股間を硬くしていた…

今、大部分の生徒は期末テストに向けてやっきになっていた…

なぜなら期末テストでAクラスにはいれば七月いっぱい景子を自由に出来るからだ…

しかし中には早くもAクラスを諦めて同好会へ参加している者もいた…
今日はビキニタイプか…
陸上のユニフォームだな…
さらには… 新たに一学年から参加した者も三名いた…

スゲェ… 松下先生
参加してよかった…

当の景子はいまだ先ほどの衝撃から立ち直れず呆然としていた
後ろは丸見えじゃん… たまらねぇ
いやらしい視線等気にせぬかのような堂々とした景子の態度に生徒の方がとまうのだった…
おはようございます

恒例の早朝ランニングが始まったが景子の頭の中はまだ混乱していた…
ファイトファイト
元気だしていけよ！
プルン!!
プルン!!
いくら考えても結論の出ない問題を繰り返していたのだ
あの奥様に限って…
道行く人々の好奇の視線を気にしなくて済むのがせめてもの…
まさか本当に二重人格だなんて事は…

整理体操
始め！
イッチニ
イッチニ
イッチニ
イッチニ
しっかり
身体伸ばせ
よー！

まるで褌みたいな
ブルマーだな…
たまらねぇ…
お…俺…
同好会にはいって
よかったよ…
松下先生を毎日見れて…

新入り… どうだ？
同好会は？
ハイ！
最高です
身体を動かして
スッキリしました
股間をおっ立てて
スッキリもないだろう
ふふふ…

あ…
すいません…
まあいい…
もっといいもの
拝ませてやるよ

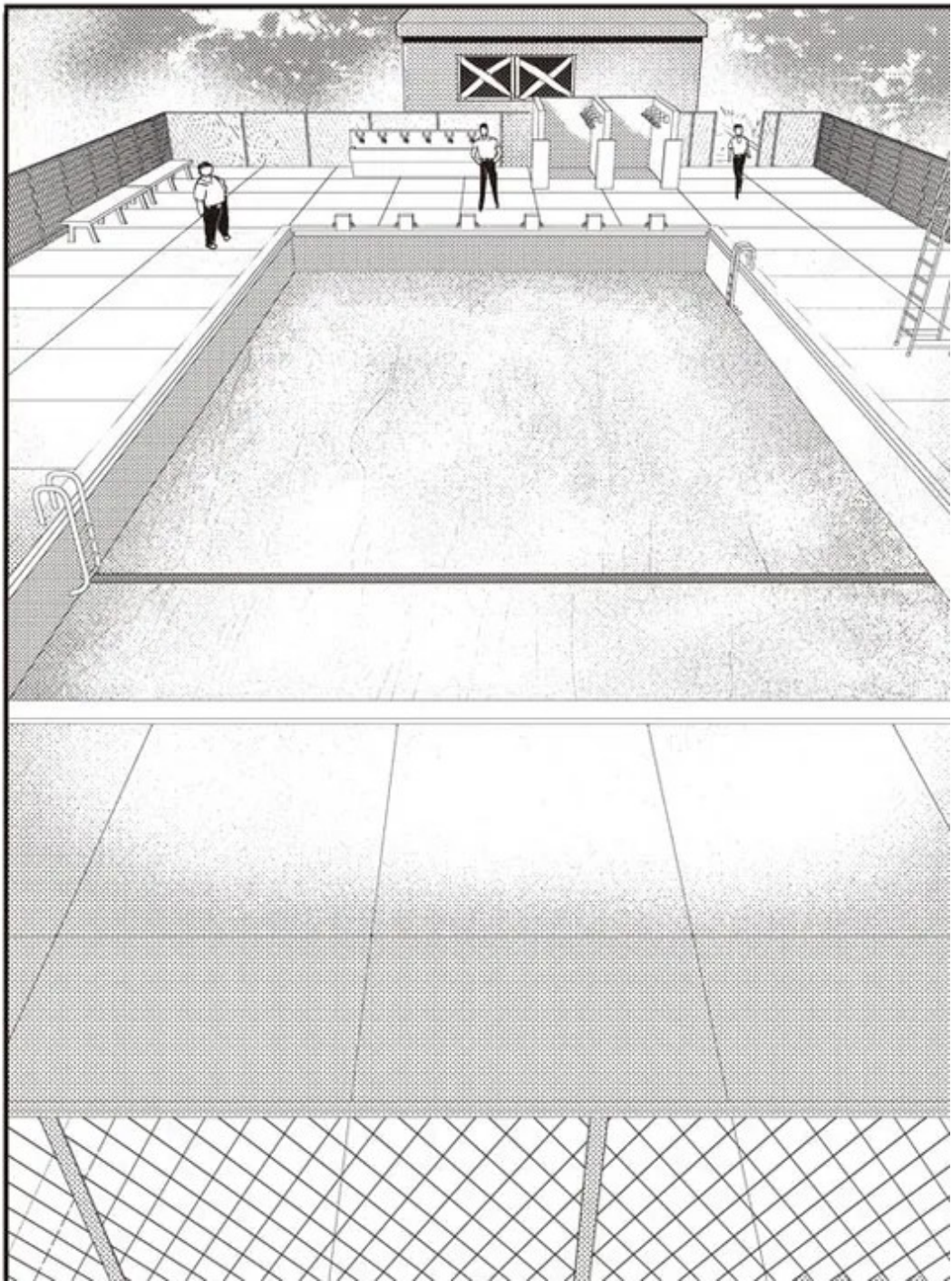
テスト前だが…
松下先生のエロい
姿を見たかったら
放課後体育館の
裏に来い！

他の者にも
伝えておく！
本日放課後特別
集会を行う！
テスト前で
強制はしないが
来るといい事が
あるとだけ
言っておく
なんだ？

もちろんお前も来るんだぜ景子！
え？でも放課後は…校長との約束が…
校長との事が終わってからでいいまず井川の所へ行って準備して来い！
…？
何か企んでいる事は明らかだったが言う通りにするしかなかった…
よし！これで解散！
ありがとうございます
ふふふ…おあつらえむきに今日もいい天気だな
松下先生すげぇ格好してる

英正学園の体育館の裏手には
今は使用されていないプールがあった

かつては水泳部もあったのだが
数年前に部員がいなくなって廃部になり
プール横には閉鎖された部室もあった
授業でも使われなくなり
放置されていたのだが…

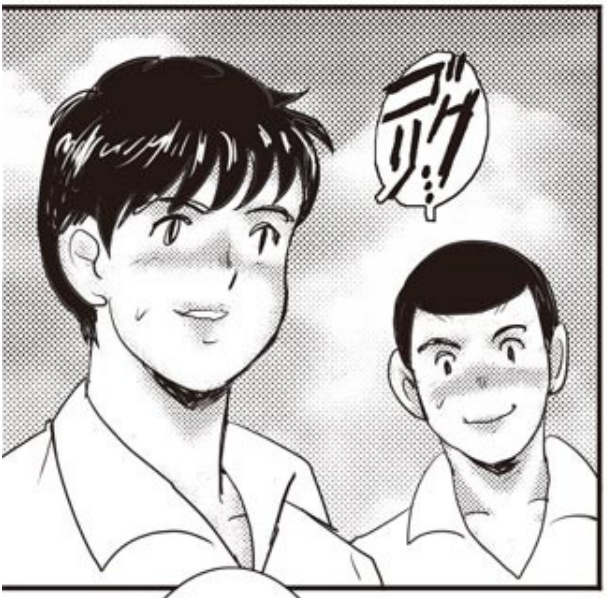


水を抜いたんですね…
業者が掃除してたけど…

故障していたポンプは黒田さんの寄付で新しい物に取り替えたらしいぜ

それで工事の人が入ってたのか
よう諸君御苦労…
けっこう集まったな…
あとから一年も来ます

先週業者に清掃させたんだがご覧の通りまだ使える状態じゃない…
使うのは同好会だけなんで諸君に仕上げてもらおうと思ってな


ゴゴゴ!!

それじゃみんな濡れてもいい服に着替えて来いそこの元水泳部の部室を使うといい

使えるようになればここで顧問の…松下先生の水着姿が拝めるという訳だ…
松下先生はどんな水着でも着てくれるからな

短パンや水着に着替えた生徒達はデッキブラシでプールの清掃を始めた
そこ！汚れがひどいぞ
おおっ!!
ついに待望の女教師が水着で現れたが…
生徒達の期待にそぐわず身につけたものは意外に大人しいものだった…

よお…
来たな…
ご覧の通り
プールを使える
ようにしたから
期末テスト後
ここで活動
するぜ
!!
一見普通の水着に
見えたのだが…
そ…そう…
横や後ろから見ると
ほとんど全裸にしか
見えなかった…

遅かったじゃねーか
着替えに時間がかかって…
まじかよ…あんな水着学校で着るなんて…
やはり松下先生は露出狂なのか…

この水着は先程井川に用務員室で渡されたものだった… もちろん黒田が用意したものだ

今日から景子は放課後校長室で校長の相手までしなければならなくなったのだ…
そのため一時間も校長のモノをしゃぶらされた…

へへへ…どうだったい？校長のモノは…

さすがに昨日の今日なのでその日はフェラチオだけで許されたが…
その日も景子は昼休みには教頭の相手をしており…間には井川や佐倉に嬲られていたのだ
E組でももちろんスチューデンツペットとして仕えていた…
さらに…朝 用務員室の二階で見た光景が景子を悩ませていた…かおると佳代夫人の近親相姦のあまりに衝撃的なセックスシーンは景子の想定をはるかに超えていた…
春川夫人やかおるが自分を陥れるはずはないと確信しながらもあれを見た後では景子の心も揺らぐのは無理はなかったのだが…
景子はその日一日中結論の出ない思いに頭をめぐらし続けていたのだ…

井川に水着を渡され
元水泳部の部室へ行くように
指示されたのだ…
プールがある事は知っていたが
それが使えるようになったとは
知らなかった

案の定…
渡された水着は
露出的なもので
あったが拒否する
自由は景子には
なかった…

プールの清掃を
しているのね…
私も何かしま
しょうか…

顧問の先生に
そんな事させら
れませんよ

後で井川さんも手伝いに来るそうです
先生専用の場所を用意しときましたから先生はあそこで監督して下さい
それじゃ…お言葉に甘えさせて戴くわ
まだ梅雨とはいえ日射しは強く真夏のような暑さだった…
いかがです寝心地は？悪くないでしょう
ええ…
わ…悪くないわ…

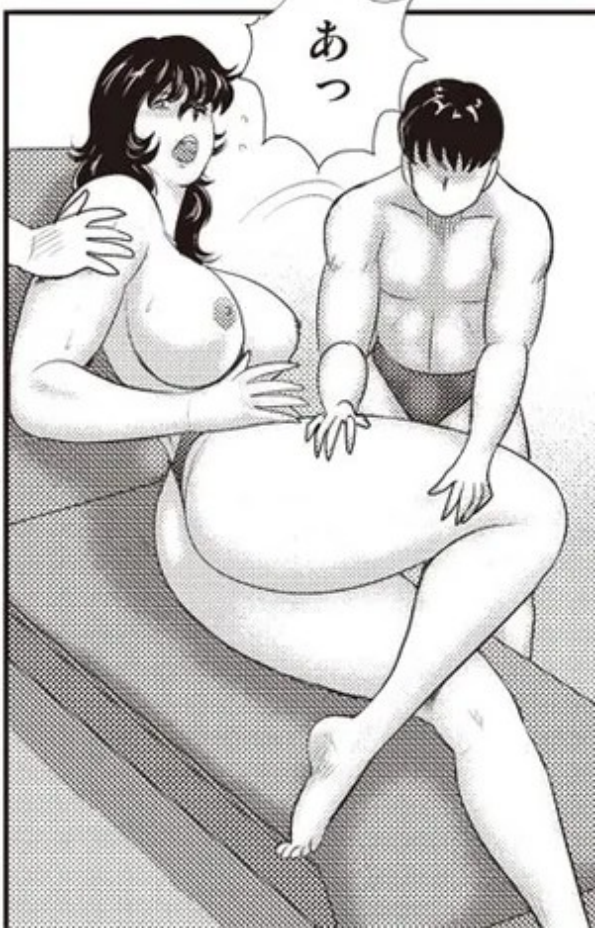
しかし日射しが強いな…
おいミス英正学園に日焼け止めを塗ってさしあげろ
はい！
あっ！
日焼けは肌に悪いですからね遠慮しないでいいですよ
クチャ!!

ああっ…
駄目よ…
こんな所で…
おおっ…

たちまちE組の生徒が景子の周りに群がると遠慮会釈なく景子の身体所構わず日焼け止めクリームを塗りたくり始めたもちろん乳房や局部が集中的に狙われたのは言うまでもない
な…何をしてるんだ？あれ…
お…おい松下先生おっぱい出してる

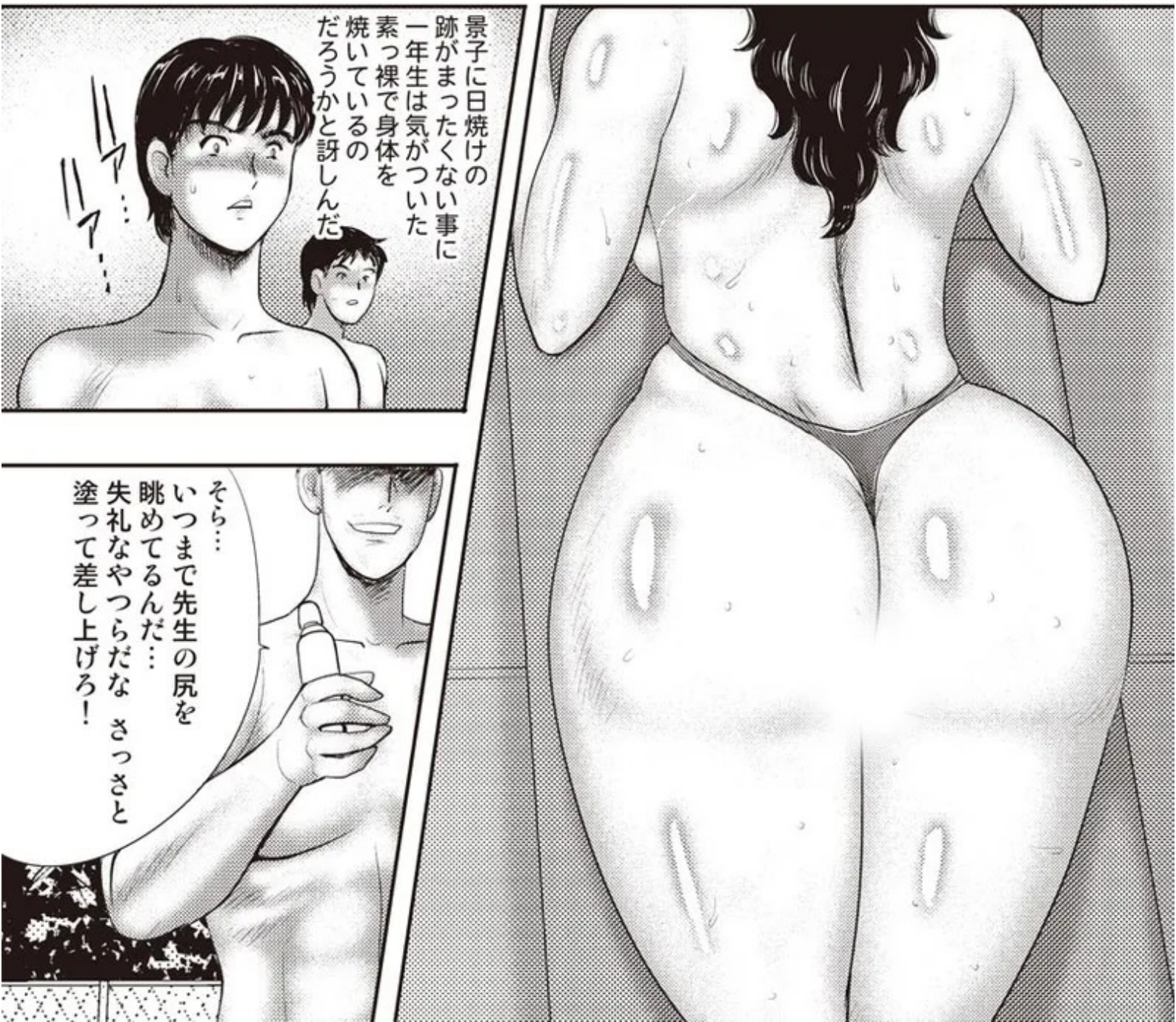
ふふふ… 一年坊主達が羨ましそうに見てるぜ…
おい！ お前らも顧問の先生に日焼け止めクリーム塗ってやれ
黒田君！

遠慮しないでいいぜ
おい先生をひっくり返して背中に塗ってさしあげろ


あっ

さあ…　一年坊主も
ミス英正学園に
敬意を表して塗って
差し上げろ
く…黒田君…
ゴクリ…
松下先生の
尻が丸見えだ
ほ…本当に
いいんですか…
そんな事して…

後ろから見ると
景子はほとんど
全裸に見えた…
景子の裸を
見慣れている
三年生は
呆然としている
一年生を眺めて
ニヤニヤ
していた…
ゴクリ


景子に日焼けの
跡がまったくない事に
一年生は気がついた
素っ裸で身体を
焼いているのの
だろうかと訝しんだ
ハァ…
ハァ…
そら…
いつまで先生の尻を
眺めてるんだ…
失礼なやつらだな
さっさと
塗って差し上げろ！

一年が
遠慮してるぞ
松下先生からも
言ってやれよ
き…
君達…
先生の身体に
クリームを
塗って…
ちょうだい…
オ…オッス！
し…失礼して
塗らさせてもらいます
遠慮しないで
ガンガン塗って
差し上げろ

い…
いきますよ

ま…
松下先生…

ああっ

う…
ふうう
ちゃんと
奥まで指入れて
塗り込める
んだ
塗ってない
所があるだろ
は…はい
ぐちゅ…

くうッ
おおッ
ああ
おおうっ
覚悟を決めたのか
突然一年生達は景子の
局部に指を差し込むと
激しくクリームを塗り
込め始めた…
肛門や性器の合わせ目の
奥まで遠慮なく侵入し
出し入れした…
景子はあまりのことに
白日の下身体をくねらせ
悶えのたうった…

あああっ
おおうッ

ひゃあっ

松下先生が
潮を吹いた！

ふふふ…
松下先生も一年生に
歓迎されて喜んで
おられる…
ハァ…
すげェ…
おしっこ
漏らした…
そら
表側も塗って
さしあげろ
ひっくり
返すんだ
ハァ…
ああ…
それじゃ
塗りにくいです
脚をもっと開いて
ください
ひいいッ
パカッ

奴隷女教師・景子11

完

MWコミックス　12

奴隷女教師・景子⑪

2019年6月25日　　初版発行

著　者　原作　杉村春也
　　漫画　まいなぁぼぉい
発行人　日向大典
発行所　マイウェイ出版株式会社
　　〒101-0051
　　東京都千代田区神田神保町1-2-5
　　和栗ハトヤビル3F
　　(03) 5577-6830（営業部）
DTP・製版　株式会社公栄社
印刷所　三共グラフィック株式会社

Printed in Japan

落丁・乱丁の場合には小社にてお取りかえいたします。
定価はカバーに表示してあります。